

基地機能強化に 反対しよう!

厚木爆同

【発行】
 厚木基地爆音防止期成同盟
 発行責任者 石郷岡 忠男
 事務所 大和市桜森3-5-3
 フォント1F
 TEL 046-240-7450
 FAX 046-261-5615
 bakudou@kanagawa.email.ne.jp



多くの参加者が集まった学習会

日時 2021年10月10日(日)
 午後4時開会

会場 大和市渋谷学習センター
 (高座渋谷駅 西口前)
 304・305講習室

内容 NHK受信料問題
 厚木基地での最近の動き

定員 60名 (先着順)

申し込み 所属支部の支部長に
 参加申込書を提出

締切日 10月1日(金)厳守

※詳しくは同封の学習会のチラシを
 お読みください

NHK受信料問題 「厚木爆同学習会」開催

NHKの訪問員 現状と対策

コロナ感染拡大で緊急事態宣言が発出され、ステイホームが推奨されました。そのため、NHKの訪問員の活動も少しおとなしくなってきたかと思っていました。しかし、ここ最近また何件かの相談が会員の方からありました。いくつかの例を紹介し、どのように対応したらよいかお知らせします。

①NHKから、表面に重要と書かれた封筒や書留の封筒、配達証明の封筒が郵送されてきた。

②訪問員から「払う気があるのか意向をうかがう書類」にサインを要求されたり、「3枚つづりのピンクのB5用紙」に名前を書くように言われたりした。

③夜遅くに訪問したり、年寄りだけの時を見計らって訪問したりすることがあった。

以上のような相談がありました。

①の場合は必ず開封し内容を確認してください。ほとんどが契約や支払いをお願いする内容です。差出先が「NHKかながわ西営業センター」や「ふれあいセンター」であれば特に問題ありません。ただ、差出先が「受信料特別対策センター」や「裁判所」など窓口が変わった場合は、そのままにせず、支部長や



NHK かながわ西営業センターへ申し入れ

事務所に連絡してください。

②の場合は名前を書くことで申込書になっていたり契約が成立することになる可能性があるため、サインをしない方がいいです。できればその用紙を預かって考えさせてくれという対応をし、その用紙を事務所に届けていただき、資料になり、弁護士に相談できますのでご協力お願いします。

③の場合は明らかにNHK西営業所との約束違反です。名刺をもらうか、名前を確認して事務所に報告してください。NHKとの交渉時に指導するように申し入れます。ひどい場合はその業者とNHKとの契約を破棄してもらうようにします。

以上最新の事例を報告し、対応を書いてみました。上記のお知らせにありますが「厚木爆同学習会」を予定しています。その中で、福田弁護士を講師に受信料の問題を学習します。詳しいお話が聞けると思っています。ぜひご参加ください。

こころが 気になる

去る6月16日、自民・公明・維新などが、コロナ感染拡大、非常事態のどさくさに紛れて、参議院本会議で土地利用規制法を強行採決しました。

この土地利用規制法は自衛隊基地や国境離島、原発周辺、原発周辺の土地利用の実態を調査し、妨害行為への中止勧告や命令が可能になるとい法律です。

そして、この法律は基地周辺に住む私たちにはとても身近な問題でもあります。米軍・自衛隊基地や原発など「重要施設」周辺1キロや国境離島などに住み、生活し活動するすべての市民を調査・監視します。

土地利用規制法

基地周辺住民への影響は？

視対象にし、政府の機関を総動員して、プライバシーまで踏み込み調査・監視することを可能にするものだからです。

そのため、自治体や住民の反発も予想されます。そのうえ、中止の命令に従わなければ罰則が科せられるため、基地や原発周辺でデモ活動を展開する我々など市民団体は警戒心を強めています。

また、政府は住民からの情報を募る窓口を設置する方針も明らかにし、「住民を分断しかねない」と私たちは心配しています。密告社会にも通じるような戦時色が強い陰湿な悪法と言えます。次号316号の会報では、さらに詳しくこの法律の解説を予定しています。

衆議院選挙 厚木爆同推薦候補



元教員
教育問題を柱に活動

神奈川15区(茅ヶ崎平塚大磯二宮)
佐々木 克己



大和北1支部の班長として活躍

神奈川13区(大和・綾瀬・海老名・座間)
太 ひでし

近々行われる衆議院選挙の厚木爆同推薦候補に、神奈川13区に太ひでしさん、神奈川15区に佐々木克己さんを8月21日の執行委員会で決定しました。

基地・爆音問題に真面目から取り組む議員を国政に一人でも多く生み出すことは極めて重要です。

その強い意志を持って立候補した2名の仲間への支援に向け、皆様のご支持・ご協力をお願いいたします。

厚木基地がオスプレイの整備拠点に!

機体そのものに安全性の不安があるオスプレイが、これまでたびたび厚木基地に飛来していることについて、厚木爆同はその都度、飛行が2012年に取り交わした日米合意に違反している等として、厚木基地での運用中止を基地司令官に申し入れてきました。ところがこの度、更に不安を募らせられる事態が生じました。

6月25日、防衛省から「米海兵隊オスプレイの定期機体整備に係る入札結果について」の情報がもたらされました。それによると、これまで陸上自衛隊木更津駐屯地(千葉県木更津市)内において定期機体整備を実施してきたSUBARU(スバル)に加えて、日本飛行機株式会社(日本飛行機)とも契約したとあります。続く新聞報道では、日本飛行機の機体整備は厚木基地隣接の工場に行うという発言も掲載されていきました。厚木爆同は、更に詳しい内容を知るべく防衛当局に情報を求めましたが、当局はこれには、米軍と民間企業の契約事案であるとして情報提供に応じませんでした。

7月20日には、防衛省南関東防衛局長、続けて神奈川県知事に対して、基地司令官への申し入れの内容に理解を求めると共に、より詳しい情報の提供を求めました。これに対しては、契約は米軍と民間企業との契約であるとして、納得いく回答は得られませんでした。

契約期間は九年半

8月11日、防衛省南関東防衛局から、「日本飛行機株式会社による米海兵隊オスプレイの定期機体整備に関する情報提供について」として情報もたらされました。それには以下の4点の内容が記されていました。

1. 契約期間…2021(令和3)年7月1日～2030(令和12)年12月31日
2. 整備場所…日本飛行機厚木工場
3. 整備内容…日本飛行機が行う主な整備内容としては、機体の内部構造の点検、腐食・損傷の修復や部品交換などを行う予定です。
4. 整備機数…

上記契約期間内における整備対象機数は合計51機の予定ですが、日本飛行機と株式会社SUBARUのどちらが整備



厚木基地に飛来するオスプレイ

これらを踏まえ、7月14日、厚木爆同は県内の平和運動関連4団体で厚木基地正門前

聞とろー聞とろー (厚木爆同会員の声)

「えっ!」厚木基地でCBRN(生物・化学・放射線・核兵器)の訓練を実施するので抗議へ参加の要請、ひと度事故が起きたらと恐怖に変わったのです。早速、支部役員で街宣二回を決定。交代でマイクを持ち、大都市と真ん中、米陸軍やってきてのCBRN訓練の危険性を訴えた。横断幕も人目を引きチラシの受取りも良く、コロナ禍に行動した甲斐があります。

「江の島上空から厚木基地へ爆音を撒き散らし軍用機が飛んでいたね」と、昔話になる日を目指して。

(藤沢支部 木村栄子)



「CBAN訓練は中止」を藤沢支部街宣 藤沢駅6月23日9名、26日辻堂駅7名

会員のみなさんの声を募集します。厚木爆同との関わり、厚木基地への意見をお寄せください。

備するかについては、定期整備の所要が発生する都度決定されるため、現時点において、日本飛行機が整備する機数は未定です。

また、1機当たりの整備期間として、約1年4か月が想定されています。が、整備内容によって実際の期間は変動します。

8・28厚木基地抗議行動 滑走路北側フェンス前で実施

8月28日、厚木爆同、第五次原告団、神奈川県平和運動センター、県央共闘会議の4団体の主催で厚木基地北側県道沿いフェンス前において集会を行いました。現在も行われているCBRN(生物・化学・放射線・核兵器)訓練に反対し、基地の整理縮小・返還を求め、飛行差し止めを実現するために基地周辺住民の声を結集し、厚木基地に対し抗議しました。それだけでなく、上記の記事にもあるように新たにオスプレイの整備を厚木基地で行うという通達もあり、

以上が工場内での整備契約内容です。機体整備には試験飛行が伴います。これまでの機体整備を行ってきた木更津駐屯地での試験飛行は、整備した4機で飛来・帰投を含めて1機につき4回、6回行なわれています。厚木基地での整備では、試験飛行がどのような形で行われるのか明記されていません。これまでたびたび飛来しているオスプレイは、基地周辺の市街地上空で固定翼モードをヘリモードに変換するといふ危険な飛行が多く目撃されています。試験飛行が厚木基地周辺で行われるとしたら、周辺住民が危険にさらされる度合いは格段に増すことになります。

厚木爆同は、構造的欠陥があると



厚木基地北側で抗議の声を上げる